

平成26年9月18日

仙台市立小中学校長様

国立大学法人東北大学工学部
工学部長 金井 浩
(公印省略)

第2回東北大学・カタールサイエンスキャンパス教育セミナー
兼 宮城県中学校教育研究会大河原地区理科教育研究会開催について
(案内)

清秋の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、『東北大学・カタールサイエンスキャンパス』プロジェクトについてご理解・ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

過日7月31日(木)に開催いたしました第1回教育セミナーには、県内各学校より40名程の参加申込を頂き無事終了することができました。これも偏に貴職のご高配の賜と改めて感謝申し上げます。

さて、前回セミナーのように幾許でも児童生徒の教育に資する情報をお届けしたいと考え、宮城県中学校教育研究会大河原地区理科教育研究会の開催に併せ、下記のとおり第2回教育セミナーを開催いたします。

つきましては、校務ご多端の折とは存じますが貴職下教職員の出席方についてご高配を賜りますようご案内申し上げます。

記

- | | |
|---------|--|
| 1 日 時 | 平成26年10月22日(水) 13:20~16:00 |
| 2 開催場所 | 東北大学・カタールサイエンスキャンパスホール
東北大学青葉山キャンパス中央 管理棟1階:仙台市青葉区荒巻字青葉6-6 |
| 3 内 容 | 13:10~ 受付
13:20~ セミナー開講式
13:30~ 講演Ⅰ
・演題 『原発事故対応ロボット/火山探査ロボットの研究開発の紹介と今後の小中学校理科教育に期待すること』
・講師 東北大学大学院工学研究科 准教授 永谷 圭 氏
14:30~ 休憩
14:40~ 講演Ⅱ
・演題 『放射線被害の現状と対策について』
・講師 東北大学大学院工学研究科 教授 長谷川 晃 氏
15:40~ アンケート記入・閉講 |
| 4 対 象 | 小中学校教職員 |
| 5 申込み方法 | ファクス(裏面様式)で 10月15日(水)まで申し込みください。 |
| 6 そ の 他 | ・宮城県中学校教育研究会大河原地区理科教育研究会秋の一斉研修会の開催に併せ、同研究会のご厚意により仙台市内の先生方へご案内を差し上げております。
・駐車場を準備しますので、利用を希望の方は申込書に記載願います。 |
| 7 問い合わせ | 東北大学工学研究科工学教育院 サイエンスコーディネーター 石垣
電話 022(795)5047 Email qsc@eng.tohoku.ac.jp |

8 講師紹介

■東北大学大学院工学研究科・工学部 航空宇宙工学専攻 准教授 永谷 圭司 氏

・担当分野 スペーステクノロジー講座 宇宙探査工学分野

・主な研究内容

フィールドロボティクス (整備されていない自然環境や災害環境において, 遠隔制御または自律制御で動作する機械に関する研究). 特に, 火山噴火時に立入制限区域内を探索する火山探査ロボット, 災害時に遠隔より被災地の探索を行うレスキューロボットの研究開発. 福島第一原発の事故調査に利用された最初の国産ロボット「Quince」の研究開発を含む.

・研究室 HP <http://www.astro.mech.tohoku.ac.jp/~keiji/index-J.html>

■東北大学大学院工学研究科・工学部 量子エネルギー工学専攻 教授 長谷川 晃 氏

・担当分野 粒子ビーム工学講座 高エネルギー材料工学分野

・主な研究内容

軽水炉や核融合炉などの現在あるいは将来の主要なエネルギー源である原子力システムで使用される材料とエネルギー発生の担い手である高エネルギー粒子線の相互作用の理解と, 低放射化高性能新材料の開発, 加速器を用いた高エネルギーイオンビームによる微細加工技術の開発など.

・研究室 HP <http://jupiter.qse.tohoku.ac.jp/research.php>

第2回東北大学・カタールサイエンスキャンパス教育セミナー参加申込書

F A X 送付先 : 0 2 2 (7 9 5) 5 8 2 4

(ふりがな) 参 加 者 名			
所 属 校 名			
所属校電話番号			
所属校 F A X 番号			
メールアドレス	※駐車場の利用案内をメールにてお知らせしますので必ずご記入ください。		
担 当 学 年		担 当 教 科 (中 学 校)	
駐 車 場 の 利 用	駐 車 場 を 利 用 し た い ・ 駐 車 場 は 不 要		
当日に質問したい事項等があれば記入してください。			

※ このA4サイズのまま, 切り取らずに10月15日(水)までに送信してください。